

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

藤田守彦 会長 年度テーマ

=先人に感謝、今日から、そして明日へ=
ホップ、ステップ、ジャンプ!!

例会場 名古屋クレストンホテル

TEL 052-264-8000

例会日時 木曜日 12:30

プログラム・クラブ会報広報委員長 岩田 宏



創立 1995年3月9日
承認 1995年3月28日
会長 藤田 守彦
幹事 田島 陽介

事務局 名古屋市中区栄3-29-1
名古屋クレストンホテル 1007号

TEL 052-263-1324

FAX 052-263-0730

Mail rc.nagoya-marunouchi@waltz.ocn.ne.jp

HP <http://www.nagoya-marunouchi-rc.org/>

第849回 例会No. 33 平成 25年 3月21日(木) 晴

■ ローターソング	「それこそロータリー」
■ 出席報告	会員46名中22名出席
■ 出席率	52.30% 出席計算人数42名
■ 修正出席率	3月7日 95.45%
■ スピーカー	西川 博さん、加藤久明さん

会長挨拶 会長エレクト 西川 博

「ドライブ・バイ・ワイヤー」について話をいたします。



「ドライブ・バイ・ワイヤー」は航空機の「フライ・バイ・ワイヤー」の技術の流れをくんだもので、ワイヤーは鋼のワイヤーではなくて電線のことで、従来車を機械的に制御していたものをコンピューターなどを介して

電子制御するシステムです。

アクセルペダル、スピードメータなどはもう以前から機械機構ではなく、電気的につながっていますね

今ステア・バイ・ワイヤの開発、ブレーキ・バイ・ワイヤ実用化が進んでいます。

その中で最近！ぶつからない車、ついていく車！のテレビコマーシャルをよく見かけますがこれは前方接近警報、速度制御システムを装備して自動ブレーキを実現した車です。

その中で軽自動車ですべて衝突回避ブレーキ支援システム「スマートアシスト」を装備した車をダイハツが発売しました。

先行車との距離は赤外線を使ったレーダーで測り、高速での性能を重視せず有料道路の料金所の開閉バーで誤動作しないように 20km/hでの作動を設定しています。

自社開発で価格は 5 万円で 6~7 割の顧客が選ぶと予想しています。

一方スバル富士重工はステレオカメラを用いた運転支援システム「アイサイト」で 114km/hまでの自動追従クルーズコントロールでの加速、減速、自動ブレーキ、停止車両および歩行者などの障害物検知、誤発進防止、車線認識といった機能を実現。

オプション価格は 10 万円に抑えています。約半分近くの顧客がこの装備を選ぶとのことですが、以前に比べて安全にけるドライバーの意識が高まったことは喜ばしいことですね。

そしてシステム開発、モジュールでの納入するドイツコンチネンタル社(WV UPIに装着)、ボッシュ社は小型ステレオカメラ、オランダMobil-eye社は単眼カメラで自動ブレーキを実現しようとしています。

大型トラック、バスについても欧州で2013年から、日本で2014年から自動ブレーキの装着が義務づけられます。もしこの装置がつけられていたら先日の中央高速道路での軽自動車にトラックが追突して尊い命がなくなるような事故は回避できたと思います。

いま世界で強化される安全及び環境の規制・基準は今後5年間に登場する車を大きく変えそうです。

このように積極的に安全が求められる自動車社会が実現するのは大変望ましいことではないでしょうか。

ニコBOX

●本日は次年度の RI 会長テーマ及び地区ガバナーの方針についてご報告いただきます。会長エレクトの西川博さん、副幹事の加藤久明さん、宜しくお願ひ致します。

藤野、川原、堀江、大岩、大附、水野、若原、柴田、加藤、伊藤、松尾、亀井、河原、吉田、永井、和田 (敬称略)

西川さん 本日、PETS 報告させていただきます。宜しくお願ひします。

長谷川さん 息子の大学進学が決まりました。東京でエンジニアを目指します。

田島幹事 岩田さん、御子息の大学合格 誠におめでとうございます。肩の荷が降りられたことと思います。よかったですね！！

本日合計 42,000円

米山カウンセラー委任状

6月より当クラブでお引き受けする米山奨学生 全培糊 (ジョン・ベホ 名古屋大学大学院 環境学研究科 韓国) さんのカウンセラーを和田直美さんにお引き受けいただきました。

米山奨学会より委任状が届きましたので、会長エレクトの西川博さんより伝達致しました。



PETS 報告

会長エレクト 西川 博
次年度幹事 加藤弘久

2013-14 年度 RI 会長 ロン D・バートン氏

米国オクラホマ州 ノーマン ロータリークラブ
1998-2000 年度 RI 理事
2008-2009 年度 ロータリー財団管理委員会副委員長
2006-2010 年度 管理委員

RI テーマ

「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」



強調事項

1. 会員増強の推進
2. ロータリー財団を通じた人道的奉仕の充実
3. ロータリー・ファミリーを通じたネットワークの強化



2013-14 年度地区ガバナー 田中正規 氏

西尾ロータリークラブ
2000-2001 年度 クラブ幹事
2007-2008 年度 クラブ会長
2005-2006 年度 地区財団奨学委員会 副委員長

地区キャッチフレーズ

「磨いて 輝こう」

地区重点項目

- ・会員の意識向上
- ・クラブのパワーアップ
- ・地区の改革
- ・会員増強

ガバナー方針

クラブのサポート強化

- ・クラブの刷新性と柔軟性を育てる。
- ・さまざまな奉仕活動へ参加するよう奨励する。
- ・会員の多様性を増進する。
- ・会員の勧誘と維持を改善する。
- ・リーダーを育成する。
- ・新クラブを結成する。
- ・クラブと地区における戦略計画の立案を奨励する。

人道的奉仕の重点化と増加

- ・ポリオを撲滅する。
- ・以下の分野における奉仕の持続性を高める。
新世代プログラム。
ロータリーの 6 重点分野。
- ・他団体との協力やつながりを深める。
- ・会員の勧誘と維持を改善する。
- ・地元と海外の地区社会で多大な成果をもたらす
- ・プロジェクトを創造する。

公共イメージと認知度の向上

- ・イメージとブランド認知を調和させる。
- ・行動を主体とした奉仕を推進する。
- ・中核となる価値観を推進する。
- ・職業奉仕を強調する。
- ・クラブにおけるネットワークの機会、
- ・およびクラブ独自の主な活動について
- ・周知を図るようにクラブに奨励する。

※ RI からの内示で「テーマ」と銘打つのは RI のものだけとなります。地区及びクラブでは「方針」「キャッチフレーズ」などとします。

※ 「ロータリーの綱領」は「ロータリーの目的」と呼び方を変更されます。原文の訂正はなく、意識の変更のみです。



☆☆例会のご案内☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

◎3月28日(木) 第850回例会

「ロータリー研修卓話」 岡田守功 R 研修委員長

◎4月4日(木) 第851回例会

「クラブフォーラム」

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆